



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 JKホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9896 URL <https://www.jkhd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 慶一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 館崎 和行 TEL 03-5534-3803
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	94,752	△6.3	1,702	△49.4	1,863	△51.0	938	△61.3
2023年3月期第1四半期	101,127	17.2	3,366	66.4	3,800	83.7	2,426	90.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,376百万円 (△43.1%) 2023年3月期第1四半期 2,419百万円 (114.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	32.46	—
2023年3月期第1四半期	81.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	221,014	58,542	25.6	1,957.91
2023年3月期	225,408	57,897	24.9	1,937.49

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 56,624百万円 2023年3月期 56,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	15.00	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	198,000	△2.8	3,800	△44.8	3,800	△48.4	2,300	△50.6	74.10
通期	400,000	△1.7	8,000	△17.7	8,000	△22.3	5,000	△25.2	161.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	31,040,016株	2023年3月期	31,040,016株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,119,289株	2023年3月期	2,117,676株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	28,920,909株	2023年3月期1Q	29,827,949株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を機に社会経済活動の正常化が進み、緩やかな景気回復が続きました。その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化等による地政学リスクや日米金利差等に起因する円安等から、資材、エネルギー価格の高騰が続いています。

当社グループが属する住宅業界では、「ウッドショック」の収束に伴う反動から木材や木質系素材の価格下落が続く一方、建材や住宅設備は一般の資材価格同様上昇が続き、住宅価格は高騰、連れて注文住宅を中心に新築住宅市場が低迷しています。当第1四半期連結累計期間の新設住宅着工戸数は全体で4.7%と減少し、当社グループが主力とする持ち家では11.9%、木造では5.3%と減少幅が大きくなっています。

このような状況下、当社グループは、在庫水準の適正化に取り組むのと同時に、価格や機動性を考慮した商材変更の提案、「資産価値が残る家づくり」に向けた付加価値の高い商材の提案等を推進し、足元のみならず今後の業界環境を見据えた営業活動を強化しております。また、従来以上に訪問頻度を高め、お客様とのコミュニケーションを密にしております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は以下のとおりとなりました。

売上高は947億52百万円（前年同期比6.3%減）と「ウッドショック」前の水準は上回ったものの、レコードを大きく更新した前年同期には届きませんでした。利益面では、総合建材小売事業が増益を確保し堅調に推移する一方、合板製造・木材加工事業が赤字となり、全体として大幅減益となりました。具体的には、営業利益が17億2百万円（同49.4%減）、経常利益が18億63百万円（同51.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が9億38百万円（同61.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 総合建材卸売事業

「ウッドショック」の反動から値下がりが続く木材や合板等の素材類は底打ちの兆しもうかがえますが、まだ下げ止まったとは言えない状況にあります。その他建材、住宅設備等は資材、エネルギー価格の高騰から価格は上昇しており、こちらは逆に天井を打ったとは言い難い段階にあります。中核のジャパン建材株式会社をはじめ各社各様に、売上のボリュームを確保しつつ、仕入れのコントロールや販売価格の交渉等に努め、売上、利益とも「ウッドショック」前の水準はほぼ確保したものの、大幅な増収増益となった前年同期との比較では見劣りする結果となりました。

この結果、当事業の売上高は784億22百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益は14億83百万円（同35.4%減）と小幅減収、大幅減益となりました。

② 合板製造・木材加工事業

当事業の中核を占める株式会社キーテックは、ロシア産輸入単板の入荷停止により主力のキークラム（LVL）事業の苦戦が続いております。前期末からの合板値下がりを受け、国産合板も前期の勢いはなく、同社全体として売上、利益とも減少しました。ティンバラム株式会社は、昨年来の製品価格下落により厳しい状況が続いておりますが、業績改善に向け、グループ挙げての販売協力や在庫の圧縮、より付加価値の高い事業へのシフト等の企業努力を継続しております。

この結果、当事業の売上高は33億38百万円（前年同期比28.6%減）、営業損失は8百万円（前年同期は9億12百万円の営業利益）と減収減益となりました。

③ 総合建材小売事業

総合建材小売事業につきましては、当第1四半期連結累計期間中に株式会社長谷川建材を株式会社ブルケン東日本に、株式会社タムラ建材および有限会社原口建材店を株式会社ブルケン・ウエストに吸収合併し、北海道および九州地区での組織再編を行いました。総合建材小売事業セグメントでは、積極的にM&Aを推進するとともに適宜組織再編を実施し、各地の事業承継ニーズに応えながら、グループのネットワークをダイナミックに拡大しております。

この結果、当事業の売上高は120億28百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益は3億12百万円（同4.4%増）と、増収増益となりました。

④ その他

その他には、建材小売店の経営指導を中心にフランチャイズ事業を展開している株式会社ハウス・デポ・ジャパンのほか、建設工事業の子会社5社、物流関係の子会社等5社および純粋持株会社でありますJKホールディングス株式会社の一部事業等を区分しております。これらの子会社のうち物流部門を担う株式会社JK CARGOは従来当社連結子会社の株式会社キーテックの子会社でありましたが、今後同社を当社グループ全体でカバーする物流子会社とすることを視野に、当社の直接子会社とし基盤拡充を図ることとしました。

この結果、当事業の売上高は9億62百万円（前年同期比10.8%増）、営業損失は1億37百万円（前年同期は71百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,210億14百万円となり、前連結会計年度末に比べて43億93百万円減少いたしました。増減の内訳としては、現金及び預金が12億7百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産と電子記録債権の合計額が38億86百万円、棚卸資産が21億32百万円減少し、流動資産が46億82百万円減少いたしました。

固定資産は、有形固定資産が2億18百万円減少した一方、無形固定資産が51百万円、投資その他の資産が4億55百万円増加したことにより、固定資産全体では2億88百万円増加いたしました。

負債は1,624億71百万円となり、前連結会計年度末に比べて50億38百万円減少いたしました。増減の内訳としては、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が24億89百万円、短期借入金が1億12百万円、未払法人税等が20億2百万円減少したことにより流動負債が49億92百万円減少いたしました。

固定負債は、長期借入金が37百万円減少したことを主因として、45百万円減少いたしました。

純資産は585億42百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億44百万円増加いたしました。利益剰余金が2億68百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期および第2四半期（累計）の連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く経営環境が概ね想定範囲内であることから、2023年5月12日に公表した業績予想に変更はありません。

なお、この業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,897	44,104
受取手形、売掛金及び契約資産	70,230	65,770
電子記録債権	18,137	18,710
商品及び製品	17,399	15,732
仕掛品	1,059	970
原材料及び貯蔵品	3,288	2,912
その他	2,788	2,911
貸倒引当金	△196	△189
流動資産合計	155,605	150,923
固定資産		
有形固定資産		
土地	42,148	42,049
その他(純額)	17,154	17,035
有形固定資産合計	59,303	59,084
無形固定資産		
のれん	192	177
その他	1,088	1,154
無形固定資産合計	1,280	1,332
投資その他の資産		
投資有価証券	3,999	4,323
退職給付に係る資産	174	187
その他	5,386	5,499
貸倒引当金	△343	△337
投資その他の資産合計	9,218	9,674
固定資産合計	69,802	70,091
資産合計	225,408	221,014
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,547	53,978
電子記録債務	55,483	52,561
短期借入金	12,486	12,373
コマーシャル・ペーパー	3,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	8,426	8,364
未払法人税等	2,781	778
賞与引当金	1,446	761
役員賞与引当金	101	32
その他	6,200	6,628
流動負債合計	143,473	138,480
固定負債		
長期借入金	15,620	15,582
退職給付に係る負債	1,193	1,061
役員退職慰労引当金	634	629
その他	6,588	6,718
固定負債合計	24,037	23,991
負債合計	167,510	162,471

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,195	3,195
資本剰余金	6,672	6,669
利益剰余金	46,352	46,620
自己株式	△1,767	△1,767
株主資本合計	54,453	54,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,312	1,536
繰延ヘッジ損益	△8	22
土地再評価差額金	331	278
退職給付に係る調整累計額	△51	68
その他の包括利益累計額合計	1,583	1,905
非支配株主持分	1,860	1,918
純資産合計	57,897	58,542
負債純資産合計	225,408	221,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	101,127	94,752
売上原価	88,679	83,660
売上総利益	12,448	11,092
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	3,334	3,565
役員賞与引当金繰入額	25	32
賞与引当金繰入額	679	705
運賃	1,268	1,244
減価償却費	272	288
役員退職慰労引当金繰入額	18	24
退職給付費用	162	166
貸倒引当金繰入額	△11	△7
その他	3,332	3,369
販売費及び一般管理費合計	9,081	9,389
営業利益	3,366	1,702
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	73	70
仕入割引	77	67
不動産賃貸料	57	60
為替差益	230	22
持分法による投資利益	16	—
その他	94	67
営業外収益合計	552	290
営業外費用		
支払利息	86	86
その他	32	42
営業外費用合計	119	128
経常利益	3,800	1,863
特別利益		
固定資産売却益	30	3
投資有価証券売却益	4	1
特別利益合計	35	5
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	3	11
減損損失	33	79
特別損失合計	37	97
税金等調整前四半期純利益	3,798	1,771
法人税、住民税及び事業税	1,169	729
法人税等調整額	115	42
法人税等合計	1,284	771
四半期純利益	2,513	999
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	61
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,426	938

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,513	999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	225
繰延ヘッジ損益	△43	30
退職給付に係る調整額	△63	120
その他の包括利益合計	△94	376
四半期包括利益	2,419	1,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,331	1,314
非支配株主に係る四半期包括利益	87	61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	総合建材 卸売事業	合板製 造・木材 加工事業	総合建材 小売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	83,561	4,672	12,024	100,258	869	101,127	—	101,127
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,219	2,022	154	10,396	1,551	11,948	△11,948	—
計	91,780	6,695	12,179	110,655	2,420	113,076	△11,948	101,127
セグメント利益 又は損失(△)	2,296	912	298	3,508	△71	3,437	△70	3,366

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フランチャイズ事業、不動産賃貸業、倉庫及び運送業、建設工事業、旅行業、保険代理業及びEC事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△70百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失を認識していないため、また、のれん等の金額に重要な影響を及ぼす事象が生じていないため記載しておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	総合建材 卸売事業	合板製 造・木材 加工事業	総合建材 小売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	78,422	3,338	12,028	93,789	962	94,752	—	94,752
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,028	1,832	185	9,046	1,607	10,653	△10,653	—
計	85,450	5,171	12,214	102,836	2,570	105,406	△10,653	94,752
セグメント利益 又は損失(△)	1,483	△8	312	1,787	△137	1,649	52	1,702

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フランチャイズ事業、不動産賃貸業、倉庫及び運送業、建設工事業、旅行業、保険代理業及びEC事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去52百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失を認識していないため、また、のれん等の金額に重要な影響を及ぼす事象が生じていないため記載しておりません。